赤嶺 謙二

大丈夫か？新設三重総合高校の将来

質問 全体像や資格取得、卒業後の進学や就職に不安があり、定員割れの心配もあると聞く。不安解消のための十分な学校説明を。

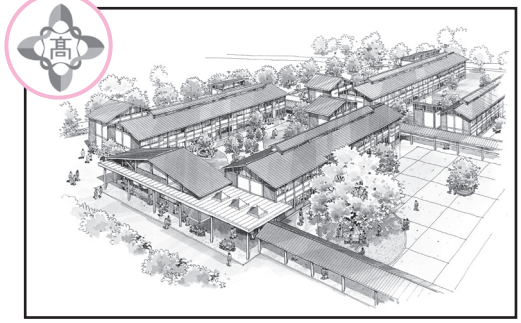
答弁 教育長 新設高校準備室は9月中に第3回中学校訪問説明、10月に第1回学校説明会を行うとのこと。市教育委員会としても、中学3年生と保護者に多くの参加を要請しています。

質問 野球場・サッカー場・柔道場・陸上グランドなど、体育施設の充実・設置要求、通学環境の整備は。

答弁 教育長 市としても県に対し要望しています。通学環境では、寄宿舎はできないとのことであります。対応策として、下宿や交通公共機関との折衝、バイク通学の検討もしていきます。今後、市としても環境・施設の整備について強く要望したい。

質問 育成のための「応援団組織」の設立は。

答弁 教育長 考えています。市長が新設高校支援委員会の会長であり、私も委員です。十分な対応をしていきたい。



市内唯一の高校となる三重総合高校
（完成予想図と校章）

急げ！防災無線の整備

質問 予算化し改善・改修を。

答弁 総務部長 屋外拡声子局のスピーカーの増設、屋内受信機の整備などを見直し、未整備地区の新規設置を行う必要があります。本年度中に基本計画を作成し、高額な予算なため段階的に改善・整備を考えています。

後藤 章子

住民の意志は

質問 市庁舎建設については住民アンケートの実施を。

答弁 市長 5町2村合併協の「新市事務所候補地選定委員会」で、すでに基本的な指針が示されています。「本庁舎建設検討委員会」を設置し、検討すべきであると考えるが、アンケートの実施は考えていません。

質問 葬斎場の建設。

答弁 生活環境部長 火葬業務については、現在三重町と大野町の3基で対応しています。老朽化した2つの施設をまとめて、市全体をカバーできる新施設の建設を行いたい。

大野葬斎場（大野町）

質問 市長が想定する「選択と集中」による新規事業とは。

答弁 市長 各種事務事業の必要性や効果などを徹底的に総点検し、スクラップ・アンド・ビルドを徹底させたい。しかし、大型の新規事業を推し進める財源確保のために、市民にとって必要な事業を切り捨てる考えはありません。

質問 国保税・一部負担金の減免制度の検討状況は。

答弁 生活環境部長 一部負担金の減免については、大分県全市国保研究協議会をこれまで3回開催し、検討しています。その結果を市の国保運営協議会に諮り検討していきます。税の減免についてもその際に併せて検討します。

※その他
「一般廃棄物最終処分場の建設計画」
「アスベスト問題」